

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

読書環境充実事業

事業の経過・背景・課題

国が策定した「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、読書離れが進む児童・生徒が魅力的な本と出会う機会を拡大するため、学校図書館の環境を整備し、子どもたちが本に親しみきっかけをつくる。

また、幼稚園においては、環境整備の一環として絵本室や各保育室の絵本コーナーの充実を図り、図書空間が安心でき居心地良い場として整備できることで子どもたちが絵本を通して心動かされる絵本や物語と出会い、お話の楽しさや読み手の声の心地よさに気づき、心豊かな体験や語彙の獲得等へとつながる。

取組内容

交付実績額： 2,869 千円

- ・令和5年度から継続して、小学校はコンピュータールームを読書に親しむスペースや調べ学習、中学校は個別読書・学習できるスペースに改装・整備し、子どもたちが本に親しむ環境整備を進めてきた。
- ・幼稚園にも本に親しむスペースを新設し、リラックスできる場として空間づくり等を工夫し居心地の良い場として環境を整え、絵本を表紙置きにしたり、関連したグッズや自然物等で季節感を出したり興味関心を高める環境を整備した。
- ・個別学習ブースについても、各中学校において活用機会の設定を行い、読書の充実、自習やAIドリル活用とあわせた活用を進めた。



事業の成果・今後の展望等

- ・幼児・児童が絵本や読書に興味をもち、落ち着いた空間で読書を楽しんだり、学習したりできる空間を整備したことで、読書活動の活性化につなげることができた。
- ・中学校では、個別学習ブースを設置したことに加え、各学校において生徒の実態に合わせた運用を図る中で、集中して学習できる環境を必要とする生徒が自ら学習に向かう機会が増加した。
- ・今後持続的に活用を図るための、環境設定の工夫や取組について、各校園の情報を共有できる機会を研修・会議等の場を通じて確保し、さらなる読書活動の推進を図っていく。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0055）